

6 「つどう・やまなし」の実現

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「つどう・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	1	国内外に向けた山梨の魅力発信	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 本県は、首都圏に位置しながら、清らかな水や緑豊かな森林など、美しい自然が数多く残されています。こうした本県の持つ魅力を国内外に発信するとともに、都市居住者に対して「やまなしライフ」に関する情報を積極的に提供し、本県への移住等を促進します。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 富士の国やまなし館の展示・販売機能の充実		P.132	観 光 部	
	○ 「花と名水 美し色の山梨」キャンペーンの展開		P.132	観 光 部	
	○ 「富士の国やまなし観光ネット」の機能の強化		P.133	観 光 部	
	○ 観光圏による広域的な観光地形成の促進		P.134	観 光 部	
	○ 富士北麓広域周遊観光拠点の整備		P.134	観 光 部	
	○ フィルムコミッションによるロケーションの誘致・支援		P.134	観 光 部	
	○ 山梨県フィルムコミッション連絡協議会の運営		P.134	観 光 部	
	○ やまなしライフの推進		P.135	観 光 部	
○ Uターン・Iターン就職の促進		P.135	産 業 労 働 部		
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			4,718 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			5,505 百万円	
	前年度までの事業費			4,386 百万円	
	本年度の事業費			1,119 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	映画、テレビ等ロケ実施件数	129 件 (H18)	180 件 (H22)	142 件 (H22)	25.5
	山梨サポーター（やまなし大使及び山梨魅力メッセンジャー）数	1,307 人 (H18)	3,000 人 (H22)	3,252 人 (H22)	114.9

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 「富士の国やまなし館」物品展示・販売機能の充実 【観光企画・ブランド推進課】	商工振興費 (63,933) 62,553	<p>首都圏における情報発信拠点として、優れた県産品の展示・販売や、四季折々の観光情報の提供などを行った。平成22年6月より、(株)電通ワークスに運営を委託し、県産品の展示・販売機能の充実を図っている。</p> <p>平成22年6月から平成23年3月までの入館者は351,604人(前年度比115.8%)、売上額は5,140万円(前年度比119.4%)となっている。</p> <p>また、本県の優れた「食」の魅力を発信するため、平成22年12月には、「富士の国やまなし館」の2階に、ソムリエとして世界的に知名度が高い田崎真也氏が経営する(株)サンティールに委託し、県産のワイン等や安全・安心な県産食材を使った料理を提供する「Y-wine(わいわい)」をオープンした。</p> <p>平成22年12月～平成23年3月までの来客数は9,133人、売上額は2,087万円となっている。</p>
2 大型観光キャンペーンの展開 【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】 【観光振興課】 【耕地課】 【道路管理課】	観光総務費 (17,000) 17,000 造林費 (8,992) 8,992 土地改良費 (676,899) 526,912 [149,987] 道路橋りょう整備費 (22,116) 19,651 [2,465]	<p>本県の魅力を全国に伝えるため、JR東日本の「重点販売地域」指定を活用し、官民一体となった「花と名水 美しい色の山梨」キャンペーンを展開した。また、名所周辺の道路や沿道環境の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な宣伝誘客活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社への情報提供及び説明会の開催 平成22年9月、平成23年2月 観光キャラバンの実施 平成22年4月～平成23年3月 5連ポスターの全国JR駅1,500箇所掲出 平成21年6月 イベントガイドブックの配布 23万部 魅力的なイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> オープニングイベントの実施 平成22年4月 お楽しみプレゼントの実施 平成22年4月～7月 SL列車運行への協力 平成22年5月～6月 受入体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> 二次交通の運行継続 沿道環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 観光地における景観の保全 昇仙峡地区(昇仙峡松林機能回復整備) 観光地におけるアクセスの確保 山梨市上岩下地区 外5地区(農村地域活性化農道整備) 北杜市甲斐駒ヶ岳地区(広域営農団地農道整備) 笛吹市春日居町地区(地域振興県道補修) 北杜市小淵沢地内(交通対策道路)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 「富士の国やまなし観光ネット」を活用した情報発信 【観光振興課】	観光宣伝費 (13,172) 13,132	<p>本県を訪れる観光旅行客に対して、旬の観光情報を適時・適切に提供するため、市町村や観光事業者等から寄せられた情報を「富士の国やまなし観光ネット」を通じて、積極的に発信した。</p> <p>また、周遊・滞在型観光を推進するため、交通情報と観光情報の連携を図り、携帯電話やカーナビも利用できる総合観光案内システムの構築を推進した。</p> <p>これらにより、年間 13,944,230 件のアクセスとメルマガ会員 16,996 人に情報を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> 旬の観光情報、旬のイベント情報、 周遊モデルコース情報、バリアフリー情報 ・やまなし観光ネットの情報強化 <ul style="list-style-type: none"> 検索機能の充実、旅行商品の販売、旅行プラン作成機能、携帯電話機能等の充実
4 山梨の魅力メッセンジャーの認定 【観光振興課】	商工総務費 (1,881) 1,881	<p>県内の大学生等が卒業後も本県の魅力を伝えられるよう、本県の自然や歴史等に対する理解が深まる講座や現地視察を実施するとともに、これらの受講者を「山梨の魅力メッセンジャー」として認定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山梨の魅力メッセンジャー」の認定 <ul style="list-style-type: none"> 認定者 326 人 累計 2,544 人（平成 23 年 3 月末現在）
5 携帯電話専用観光ホームページの充実 【観光振興課】	観光宣伝費 (31,985) 31,985	<p>周遊・滞在型観光を推進するため、「富士の国やまなし観光ネット」の携帯電話機能を充実させて、県内を観光中に情報を取得できる案内システムの構築を推進した。</p> <p>このことにより、年間 5,565,185 件のアクセスによる観光客等の情報入手などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話情報提供機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> G P S 機能による現在地周辺の観光情報検索 路線バス情報提供 ・QRコードの継続設置 <ul style="list-style-type: none"> J R 駅・市町村・旅館等宿泊施設・災害避難所 3,000 箇所

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 広域的な観光地形成の促進 【観光振興課】	観光総務費 (1,800) 1,800	<p>国際競争力の高い魅力ある観光地の形成により地域の活性化を図るため、観光地が広域的に連携した「観光圏」の整備を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山・富士五湖観光圏の整備支援 富士山・富士五湖観光圏整備推進協議会に情報提供等を実施 富士北麓駐車場を拠点とした圏域内の広域周遊観光の促進に資するため富士山・富士五湖観光圏整備推進協議会が実施する基礎調査、観光人材の育成事業の実施支援 ・八ヶ岳観光圏の認定・整備支援 八ヶ岳観光圏整備推進協議会の認定を支援 八ヶ岳観光圏整備促進協議会に情報提供等を実施
7 富士北麓広域周遊観光の推進 【観光資源課】	観光施設費 (551,580) 407,281 [144,000]	<p>富士スバルラインの渋滞解消と富士北麓地域における広域周遊観光の推進を図るため、拠点となる駐車場を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場整備、観光案内所及びトイレの建設
8 映像産業招致の推進 【観光企画・ブランド推進課】	観光総務費 (1,482) 1,441	<p>本県のイメージアップと誘客を図るため、フィルムコミッションにより、映画やテレビなどの撮影（ロケーション）の誘致・支援を行い、山梨を舞台とした映画やドラマ、テレビ番組を通じて本県を広くPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画・テレビ等の撮影の誘致・支援 142件 ・ロケ地データベース情報の充実 ・山梨県フィルムコミッション連絡協議会の運営 (全市町村参加)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 やまなしライフの推進 【観光振興課】	観光総務費 (3,200) 3,200	<p>二地域居住の促進により、本県の交流・定住人口の増加を図るため、本県での暮らし（やまなしライフ）に関する相談窓口の運営や相談会の開催など情報提供を行った。</p> <p>また、田舎暮らしガイドブックの作成・配布、WEBサイトの運営により、「やまなしライフ」に関する情報を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「グリーンカフェやまなし」における相談 172件 ・「甲斐適生活相談会」の開催 平成22年6月、10月、平成23年2月 参加者239人 ・二地域居住誘導促進モニタリング調査の実施 モニター認定者 22人 ・「田舎暮らし出張セミナー」の開催（2日） 平成28年8月、10月 参加者45人
10 Uターン・Iターン就職の促進 【労政雇用課】	雇用対策費 (6,734) 5,063	<p>県内労働力を確保するため、県外の学生やU・Iターン希望者に対して企業情報を提供するとともに、就職相談の実施や就職面接会を開催した。</p> <p>これにより、平成19年度以降、12,836件の就職相談を実施するなど、U・Iターン就職の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなしU・Iターン就職支援室での就職相談等の実施 7,123件 ・就職面接会の開催 平成22年5月 参加者119人 参加企業32社

「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「つどう・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	2	時代のニーズを満たす多様な観光の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	16	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】 美しい自然、良質な温泉、新鮮でおいしい農産物など、本県には、「健康」や「癒し」といった観光客のニーズを満たす地域資源が数多くあります。これらを活用し、「日本のスイス」と呼ばれるような観光地づくりを進め、観光客の大幅な増加を図ります。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 上海におけるトップセールスの実施		P.138	観 光 部	
	○ 北京・上海拠点におけるセールス活動の実施		P.138	観 光 部	
	○ やまなし観光推進機構の運営支援		P.139	観 光 部	
	○ やまなし観光推進機構による着地型旅行商品の造成・販売		P.139	観 光 部	
	○ 企業研修等団体旅行の誘致		P.139	観 光 部	
	○ 農山村地域における都市住民との交流支援		P.139	観 光 部	
	○ 中京・関西方面重点キャンペーンの実施		P.140	観 光 部	
	○ 観光地の再生、魅力向上への支援		P.141	観 光 部	
	○ 富士の国やまなし観光振興施設整備費補助金による支援		P.141	観 光 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			9,683 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			8,959 百万円	
	前年度までの事業費			7,513 百万円	
	本年度の事業費			1,446 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	観光客数	44,040 千人 (H18)	50,000 千人 (H22)	47,138 千人 (H21)	52.0
	外国人観光客数	689 千人 (H18)	1,000 千人 (H22)	908 千人 (H21)	70.4

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 海外誘客宣伝活動の実施</p> <p>【国際交流課】</p>	<p>観光宣伝費 (6,424) 6,368</p>	<p>本県の魅力を積極的に海外に売り込むため、市町村や観光事業者等と連携して、中国においてトップセールスを実施し、本県への外国人観光客の誘客を図った。</p> <p>平成22年の外国人宿泊者数は495千人で、前年と比較して21.0%増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上海トップセールス 平成22年8月 「富士の国やまなし」観光フェアの開催 上海メディア記者会見の実施 「やまなしサポーターズ倶楽部 in 上海」の発足
<p>2 東アジアからの観光客誘致の促進</p> <p>【国際交流課】</p>	<p>観光宣伝費 (5,000) 5,000</p>	<p>東アジアからの観光客を誘致するため、観光セールスを強化するとともに、日本国内での手配を専門的に行う旅行会社を県内に招へいし、本県の観光資源をPRした。</p> <p>平成22年の東アジアからの外国人宿泊者数は、375千人で、前年と比較して26.8%増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国北京・上海拠点におけるセールス活動の実施 通年 ランドオペレーターの招へい 平成22年11月
<p>3 外国人旅行客受入の向上</p> <p>【国際交流課】</p>	<p>——</p>	<p>外国人旅行客の受入体制の充実を図るため、「外国人観光客実態調査」を行い、動向を把握するとともに、旅館の従業員等の接客力の向上を図るための中国語研修などを行った。また、富士山五合目において、外国人登山者の事故防止と利便性向上を図るため、外国語による登山情報等の提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「外国人観光客実態調査」の実施 平成22年6月～7月 インバウンド観光セミナーの開催 中国語実践講座 2地域12回 平成22年10月～平成23年3月 参加者38人 中国語ホームページ等作成講座 4回 平成23年1月～3月 参加者18人 富士山五合目における登山案内等の実施（英語・中国語） 平成22年7月～9月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 新たな観光振興推進体制の確立 【観光振興課】	観光総務費 (63,000) 60,025	<p>国内外の観光客の効果的・効率的な誘致を図るため、産学官が協働して設立したやまなし観光推進機構と連携し、観光の振興に取り組んだ。</p> <p>また、着地型旅行商品の造成・販売に取り組み、78の商品を造成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし観光推進機構の運営支援 <p>主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR、NEXCOと協働した観光キャンペーン ・観光・物産情報の発信 ・インバウンド観光客の誘客 ・県産品の販路拡大 ・着地型旅行商品の造成・販売促進 ・旅行会社への商品造成促進 ・観光人材の育成
5 企業研修等団体旅行の誘致 【観光振興課】	観光総務費 (1,400) 1,400	<p>山梨ならではの受入メニューなどの情報発信や首都圏の大手旅行会社への営業活動などを行い、企業研修・ミーティングなど「新たな団体旅行」の誘致に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入メニューの追加 4メニュー ・旅行会社への働きかけ 10回 ・受入メニュー体験ツアーの実施 平成23年11月
6 富士の国やまなしロングステイの推進 【観光振興課】	—	<p>エコツアー等の滞在メニューを含むツアーの情報発信を行い、観光の振興を図った。</p>
7 やまなし都市農村交流の促進 【観光振興課】	農業総務費 (1,560) 823	<p>本県におけるグリーンツーリズムの普及を促進するため、農山村地域の多様な資源を活用し、都市住民との交流活動に取り組む富士の国やまなし農村休暇邑協会の活動に対して支援した。</p> <p>これにより、地域コーディネーターの資質向上や相互の連携、地域資源の発掘・活用が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士の国やまなし農村休暇邑協会の活動内容 ・都市農村交流事業提案コンテストの実施 ・優秀提案4点の選定(応募12点) ・モニターツアーの実施(4コース、参加者54人) ・活用推進会議による地域コーディネーターの連携 ・資質向上研修会の開催(平成23年3月)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 観光懇話会の開催 【観光企画・ブランド推進課】	観光総務費 (689) 393	観光カリスマや学識経験者等で構成する観光懇話会を開催し、今後の観光振興の在り方についての意見を施策に反映した。 ・山梨県観光懇話会の開催 3回
9 地域観光コーディネート の促進 【観光振興課】	——	地域でこそ知り得る観光素材を活用し、新たな観光地域づくりを行う団体等の取り組みに対して支援した。これにより、到着地で様々なメニューを楽しみたいという観光客のニーズへの対応が図られた。 ・新たな観光地域づくりへの支援 5団体
10 エコツーリズムの推進 【観光資源課】	——	自然環境に恵まれた南アルプスや八ヶ岳南麓、奥秩父などにおけるエコツーリズムの普及・定着を図った。 ・市町村や関係団体等に対する情報提供、指導助言等
11 宿泊客増大に向けた観光商談会等の開催 【観光振興課】	——	本県に宿泊する観光客の増大を図るため、中京・関西圏での観光キャンペーンを実施した。 ・中京・関西方面重点キャンペーンの実施 高速道路SA等での観光キャンペーン 18回 SAへのパンフレット設置 14箇所 SA・PAへの電子ポスター掲出 37箇所 ハイウェイ観光ナビゲーター(談合坂・双葉) 85日 東京・大阪に駐在職員を配置し、旅行会社等への営業活動
12 県立大学における国際観光講座の実施 【私学文書課】	大 学 費 (558) 558	グローバルな観光人材を育成するため、学生や県民・企業が参加できる国際観光講座(公開講座)を県立大学で実施し、県民等の観光に関する理解を深めた。 ・県立大学における公開講座の実施 平成22年10月～平成23年2月 4回 参加者133人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
13 観光地域の再生 【観光振興課】	観光総務費 (7,000) 7,000	<p>県内の主要な観光地の再興を図るため、観光事業者や地域住民が市町村等と協働して行う観光地の再生や魅力向上に向けた取り組みに対して支援した。</p> <p>特に、平成20年度から支援を行っている昇仙峡、下部温泉郷に加え、新たに湯村温泉郷、清里・八ヶ岳南麓において誘客イベント、モデルツアー、おもてなしシンポジウムなどを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地再生アドバイザーの派遣 4地区（昇仙峡、下部温泉郷、湯村温泉郷、清里・八ヶ岳南麓） ・観光地再生に向けた基盤整備等 4地区（昇仙峡、下部温泉郷、湯村温泉郷、清里・八ヶ岳南麓）
14 観光振興施設整備への支援 【森林整備課】 【治山林道課】 【観光資源課】 【道路整備課】	観光施設費 (90,000) 65,474 造林費 (10,644) 10,644 林道費 (53,000) 53,000 道路橋りょう建設費 (2,271,177) 953,940 [1,317,237] 道路橋りょう整備費 (350,526) 254,335 [96,191]	<p>地域における観光の舞台づくりを計画的に進めるため、市町村等が行う観光振興施設の整備に対して支援するとともに、富士山周辺の道路等を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富士の国やまなし観光振興施設整備費補助金」による支援 富士吉田市 下吉田駅前広場 北杜市 尾白川溪谷駐車場 鳴沢村 道の駅なるさわ公衆トイレ など7市町村・1民間山小屋事業者10箇所 ・観光に資する道路整備 林道の改良 南アルプス線 延長0.1km 観光振興施設の周辺道路の整備 富士河口湖芦川線 外5路線 延長5.8km

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
15 温泉療養都市 づくりの促進 【観光振興課】	———	<p>「健康」、「癒し」、「滞在」等の新たな旅行需要を呼び起こし、観光客の増加につなげるため、温泉利用プログラム型健康増進施設と病院等との連携による温泉療養都市づくりを促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温泉療養都市づくりに向けた情報提供、助言等 随時
16 温泉健康づくりの普及への支援 【健康増進課】	———	<p>温泉を利用した健康づくりを普及させるため、温泉利用プログラム型健康増進施設に必要な温泉入浴指導員の養成に対して支援した。</p> <p>これにより、400人の温泉入浴指導員による入浴指導が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 温泉入浴指導員養成講習会（財）日本健康開発財団への支援